

## 第7回 盛岡都市圏地域公共交通会議

### 協議資料

## 盛岡都市圏地域公共交通計画（実施施策（案）等）について

### 本日協議いただきたい内容

#### 【報告・おさらい】

- 基本理念、基本方針及び目標について

#### 【協議】

- ① 将来ネットワークについて
- ② 目標指標について
- ③ 施策の方向性について
- ④ 実施施策の概要について
- ⑤ 計画構成について
- ⑥ 計画の推進体制・年度スケジュールについて

# 【報告・おさらい】基本理念、基本方針及び目標について

実施施策との整理にあたり、基本方針③・④及び目標③・④の並び替えを行いました。

## 公共交通の課題

### 公共交通ネットワークにおける課題

盛岡都市圏の骨格を支え、まちの魅力向上とともに持続可能な公共交通ネットワークへの転換が必要

### 公共交通サービスにおける課題

移動需要やニーズに対応した公共交通サービスの維持・向上や公共交通を持続させていくために必要な費用負担等のあり方の構築が必要

### 施策実施における課題

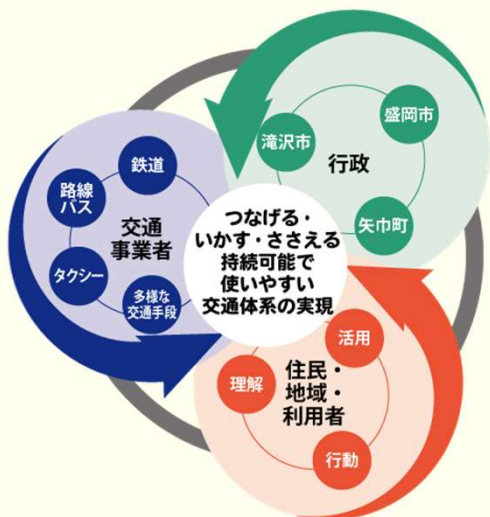
関係者間の枠組みを超えた施策展開とともに、データ等に基づいた公共交通の改善が必要

### 住民意識・参画における課題

公共交通が交通手段の選択肢となるために住民意識の醸成や積極的な関係性の構築が必要

## 基本理念

『つなげる・いかす・ささえる  
持続可能で使いやすい  
交通体系の実現』



## 基本方針

基本方針①  
限りある輸送資源の最適化による  
持続可能な公共交通ネットワークの形成

基本方針②  
地域の実情に合った  
公共交通利用環境の構築

基本方針③  
地域と利用者の連携・協働による  
公共交通の推進

基本方針④  
盛岡都市圏の多様な関係者による  
施策展開の実現

## 目標

目標①  
交通モードの役割に応じた  
最適なネットワークの形成

目標②  
安心・快適に利用できる  
公共交通サービスの構築

目標③  
地域に合った望ましい交通行動の  
普及・定着

目標④  
従来の取組主体の枠組みを超えて  
参画・連携できる体制の構築

ご協議いただきたいこと

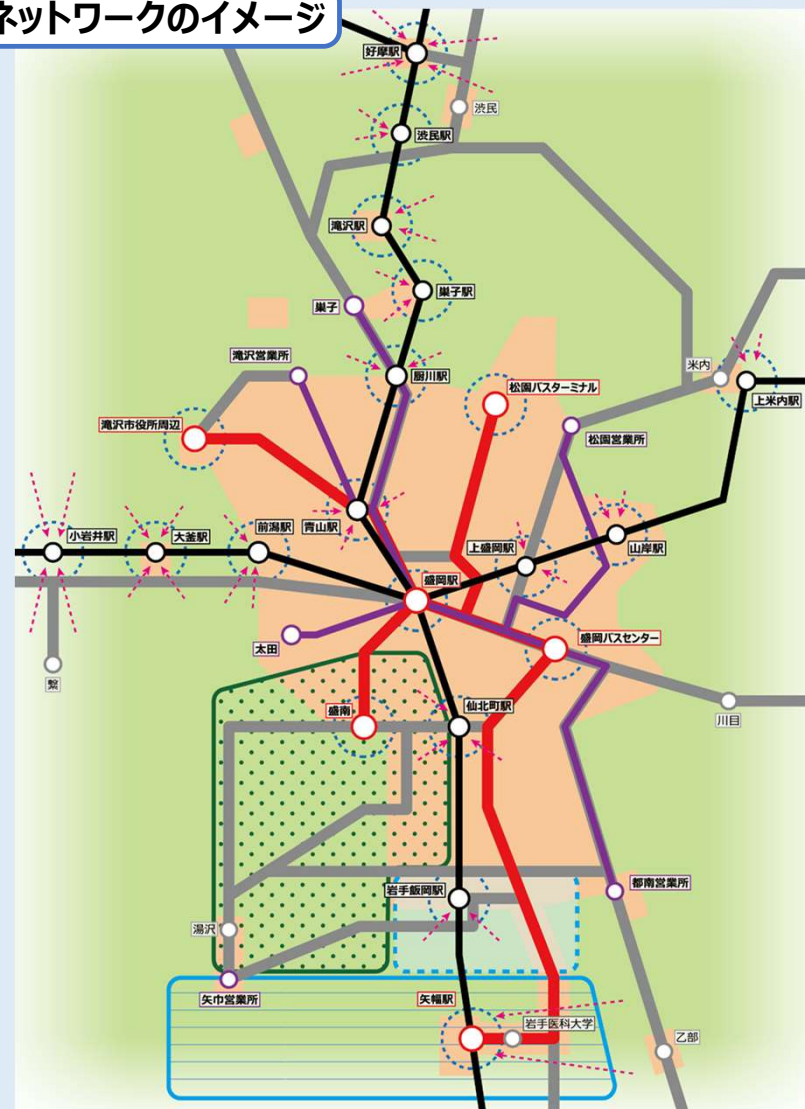
基本理念及び基本方針に基づき、交通事業者との個別協議を経て将来ネットワークを検討しました。将来ネットワークや交通結節点・拠点設定の考え方について、ご意見ををお願いします。

ネットワーク、交通結節点・拠点設定の考え方

将来ネットワークにおける位置付け	ネットワーク・エリアの位置付け	想定される路線
— 広域基幹系統（鉄道）	盛岡都市圏内外を連結する鉄道・バス路線	東北本線、田沢湖線、山田線、花輪線、IGRいわて銀河鉄道線
— 広域基幹系統（路線バス）		八幡平線、沼宮内線、106急行・特急線 等 つなぎ温泉線、長岡線 等、平庭高原線 等
— 都市圏基幹系統	盛岡都市圏の骨格となり、主要結節点を結ぶバス路線	【盛岡バスセンター～盛岡駅前間】、 【盛岡駅前～滝沢市役所周辺間】、 【盛岡中心部～松園バスターミナル間】、 【盛岡駅前～盛南間】、 【盛岡バスセンター～矢幅駅前間】の5区間を運行する各線
— 都市圏準基幹系統	基幹系統を補完し、盛岡都市圏中心部と主要バス停留所間を結ぶバス路線	【盛岡バスセンター～盛岡駅前～滝沢営業所間】、 【盛岡駅前～盛岡バスセンター～松園営業所間】、 【盛岡駅前～盛岡バスセンター～都南営業所間】、 【盛岡バスセンター～盛岡駅前～太田間】、 【盛岡バスセンター～盛岡駅前～菓子間】の5区間を運行する各線
— 既存路線バスエリア	既存路線バスを主体としたネットワークを形成するエリア	厨川線、盛南上田箱清水線 等 南青山町線、みたけ中央線、浅岸線、中央線、イオンモール盛岡線、ゆいぴあ東線 等
— 地域内交通実施エリア（フィーダー系統）	鉄道・バス不便地域における地域内で完結する移動を実施・検討するエリア	矢巾町：やはばす・デマンド交通「のりあい号」
— 地域内交通検討エリア（フィーダー系統）		盛岡市：患者輸送バス 等 滝沢市：福祉バス、患者輸送バス 等 タクシーの効果的な活用、地域の輸送資源の活用 等（見直し想定路線）
— 見直し想定エリア（盛岡市南西部～矢巾町北部）	路線バスネットワークの見直しを想定するエリア	羽場線、本宮線、飯岡線 等（見直し想定路線）
— 見直し想定エリア（矢巾町北部～盛岡市南部）		川久保線、南インター経由川久保線 等

区分	交通結節点設定の考え方
○ 主要結節点	盛岡都市圏・各市町の中心拠点として拠点性が高く、都市圏基幹系統が接続するとともに、特に地域内交通との接続等を考慮する結節点
○ 鉄道駅	パークアンドライドやサイクルアンドライド等の推進により、利用圏の拡大や利用者の増加を目指す鉄道駅
○ 主要バス停留所	既存路線バスエリアの縁辺部や郊外に位置し、路線バスの運行の拠点となる営業所や都市圏準基幹系統が接続する主要なバス停留所
○ 地域拠点	盛岡市中心部と市街地が連担していないものの、郊外型団地や集落、主要施設等の、一定の移動需要が見込める拠点
○ 主要結節点・鉄道駅利用圏	主要結節点や鉄道駅から半径800mの範囲については、拠点性の高さを活かして、公共交通利用者の確保に努める
○ 鉄道駅利用圏の拡大イメージ	パークアンドライドやサイクルアンドライド等の推進により、鉄道駅の利用圏を拡大する

将来ネットワークのイメージ



ご協議いただきたいこと

事業実施状況と計画の推進状況を評価する目標指標を設定しました。  
目標指標やその考え方について、ご意見ををお願いします。

目標指標一覧と各指標選定、目標値設定の考え方

**目標①** 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 1-1 住民1人当たりの公共交通利用回数			
i 鉄道	26.7(回/年・人)	26.7(回/年・人)	毎年
ii 路線バス	32.8(回/年・人)	32.8(回/年・人)	毎年
iii 地域内交通	0.07(回/年・人)	0.07(回/年・人)	毎年
iv タクシー	9.7(回/年・人)	9.7(回/年・人)	毎年
指標 1-2 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合	79.9%	79.9%	計画更新時

**目標②** 安心・快適に利用できる公共交通サービスの構築

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 2-1 公共交通利用者の満足度	29.6%	35.6%	計画更新時

**目標③** 地域に合った望ましい交通行動の普及・定着

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 3-1 公共交通利用率	27.8%	27.8%以上	計画更新時

**目標④** 従来の取組主体の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 4-1 3市町連携による施策実施数	0	31	計画更新時
指標 4-2 路線バスの収支率	77.12%	77.12%	毎年
指標 4-3 公共交通への公的資金投入額	214 百万円	302 百万円	毎年

【選定理由】公共交通機関の利用状況を確認するため  
【評価内容】地域内の交通サービスが適切に提供されているか、交通結節点が活用されているか、利便性が高いか 等  
【目標値設定の考え方】路線バスや鉄道等の減便や廃止等によって、利用する機会が減少し、利用回数が減少する中で、ネットワークを維持するため「維持」

【選定理由】鉄道・路線バス・地域内交通へのアクセスが可能な地域に居住する人口を確認するため  
【評価内容】公共交通サービスの提供状況、地域の交通格差、交通弱者への対応。  
【目標値設定の考え方】現在のサービスレベル及び利用者数の維持を目指し「維持」

【選定理由】サービスの改善点やさらなる充実のための課題を確認するため  
【評価内容】サービスの質、利用者のニーズへの対応状況  
【目標値設定の考え方】岩手県公共交通計画で示されている目標と同程度の「向上」

【選定理由】地域の移動手段における公共交通の利用割合を確認するため  
【評価内容】交通行動の普及・定着の度合い  
【目標値設定の考え方】各種施策によって「向上」

【選定理由】3市町が連携した施策を実施できているか確認するため  
【評価内容】盛岡都市圏としての連携体制構築状況  
【目標値設定の考え方】当計画において令和11年度に「実施」「完了」を予定している都市圏施策の実施事業数として「31」

【選定理由】民間事業者（路線バス）の収支バランスを確認するため  
【評価内容】利便性・持続可能性の高い公共交通ネットワーク、自治体として必要な支援や施策  
【目標値設定の考え方】人口減少によって利用者及び収入の減少が見込まれるが、各種施策による利用者増加、最適化による支出抑制等により「維持」

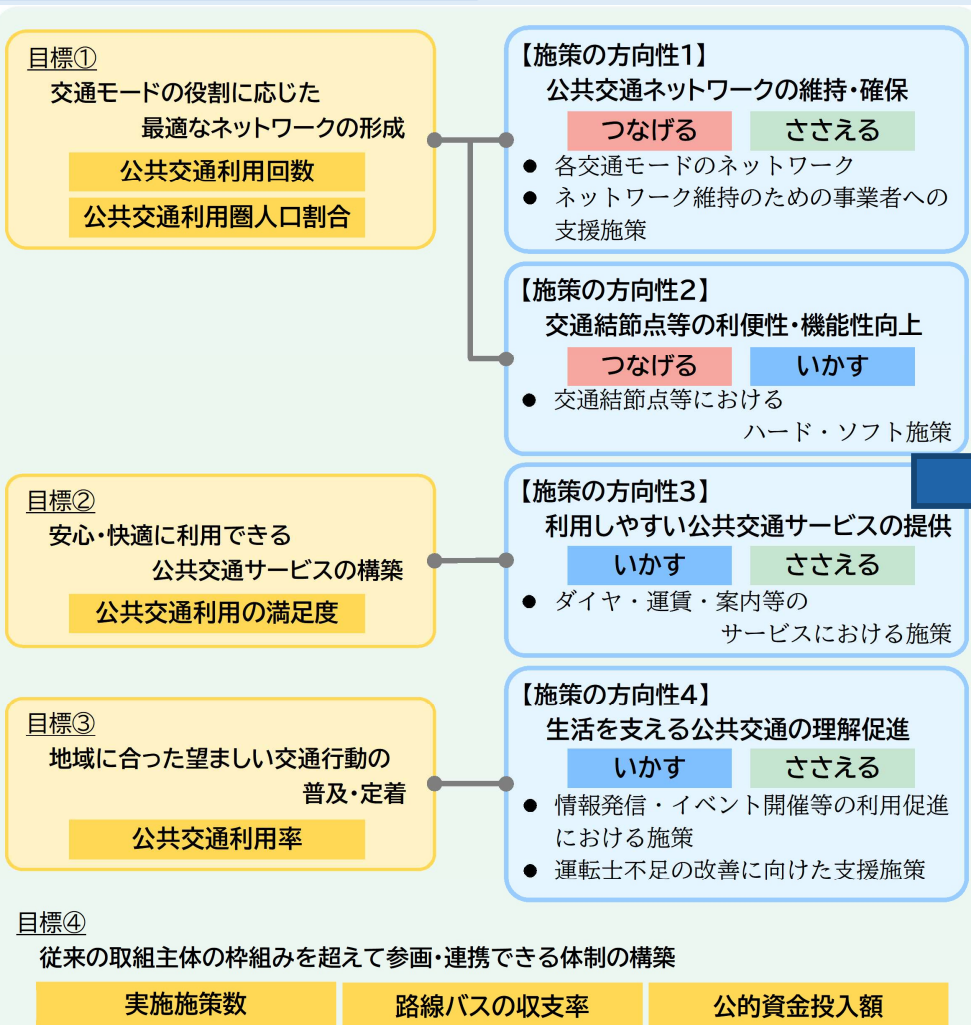
【選定理由】公共交通の維持・改善に向けた公的な財政支出の規模を確認するため  
【評価内容】金額や増減を踏まえた施策の有効性や改善点  
【目標値設定の考え方】現状値に、計画期間内の実施事業に要する想定公的資金投入額を付加し「302百万円」

ご協議いただきたいこと

目標及び目標指標を達成するために実施する施策を検討しました。目標や目標指標に対応する施策の方向性を下図の通りに整理しました。基本方針・目標との関連性や施策の区分について、ご意見をお願いします。

目標・目標指標と施策の方向性

実施施策一覧



実施事業		地域公共交通 利便増進事業
<b>方向性1 公共交通ネットワークの維持・確保</b>		
都市圏施策1-1	鉄道の運行維持と利活用・利便性向上	
都市圏施策1-2	路線バスネットワークの維持	○
都市圏施策1-3	タクシーの効果的な活用によるネットワークの形成	○
市町施策1-3	デマンド交通の利便性向上	
都市圏施策1-4	地域の輸送資源の活用による移動手段の確保	
市町施策1-4	地域特性に合った交通手段の導入	
都市圏施策1-5	交通事業者の収支改善に繋がる支援	
<b>方向性2 交通結節点等の利便性・機能性向上</b>		
都市圏施策2-1	交通結節点の機能性等の向上	
市町施策2-1	交通結節点等の整備	
都市圏施策2-2	公共交通の裾野を広げる 交通結節点等の活用とまちづくりとの連携	
<b>方向性3 利用しやすい公共交通サービスの提供</b>		
都市圏施策3-1	利用しやすい運行ダイヤの設定	○
都市圏施策3-2	分かりやすい公共交通案内情報の提供	
都市圏施策3-3	既存の公共交通を活用した観光部門との連携	
都市圏施策3-4	利用促進に繋がる運賃体系の研究	
市町施策3-4	生活交通を支える運賃制度の継続・検討	
都市圏施策3-5	キャッシュレス決済の導入・普及拡大	
<b>方向性4 生活を支える公共交通の理解促進</b>		
都市圏施策4-1	公共交通に関する情報の周知	
都市圏施策4-2	都市圏公共交通マップの作成	○
都市圏施策4-3	公共交通利用促進イベントの開催	○
都市圏施策4-4	通勤通学・公務移動時等の公共交通利用の促進	
都市圏施策4-5	公共交通を支える意識の醸成と公共交通施策への参画	
都市圏施策4-6	運転士不足の改善に向けた支援	

※赤枠の施策を次頁以降で説明

ご協議いただきたいこと

実施施策には、事業の方針や内容を示す「事業概要」、具体的な事業箇所や方法を示す「実施事業」、想定している事業の実施例等を示す「実施イメージ」、実施する主体やスケジュールを整理しています。  
 実施施策全般において、ご意見をお願いします。

【方向性1】公共交通ネットワークの維持・確保  
 都市圏施策1-1 鉄道の運行維持と利活用・利便性向上

事業概要

- 盛岡都市圏の将来ネットワークの広域基幹系統として維持するため、鉄道のさらなる利活用の促進や、利便性向上に向けて交通事業者や沿線自治体と協議します。
- 各市町の都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくり計画と連携し、鉄道駅を拠点としたコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの実現に向けて、必要となる調査を行い、関係機関との調整を実施します。

実施事業

<鉄道の維持>

- ☞ 鉄道の持続的・安定的な運行の維持

<鉄道の利活用・利便性向上等に向けた協議・調整>

- ☞ 鉄道の利活用や利便性向上に向けた協議、まちづくりと連携した調査・調整（課題、効果、新規需要など）

実施イメージ

○鉄道沿線価値向上の例



以下の4つを柱に、鉄道の利用拡大と地域の活性化の実現に取り組む

- 【まち】駅を中心としたまちづくりの推進  
交流人口の拡大
- 【観光】観光・ワーケーション等による  
地域産業の活性化
- 【産業】人と物の往来拡大による  
地域産業の活性化
- 【住民】沿線住民の意識醸成・利用拡大



出典：「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト」（山形県）

実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
【事業①】 鉄道の維持	○	◎			実施(継続)				
【事業②】 鉄道の利活用・利便性向上等に向けた協議・調整	◎	○			実施(継続)				

## 【方向性1】公共交通ネットワークの維持・確保 都市圏施策1-2 路線バスネットワークの維持

地域公共交通  
利便増進事業

### 事業概要

- 盛岡都市圏の骨格となる都市圏基幹系統は、バス事業者と行政が協力し合いながら現状のサービスレベルを維持します。
- まちづくりの進展に伴う新たな移動需要が見込まれるエリアや、商業施設等の集客施設の新設により移動の流れが変化することが想定されるエリアにおいては、まちづくりの施策と連携しながら、新規需要の取り込みや移動ニーズに対応する利便性を確保するため、ネットワークの形成を図ります。
- 既成の住宅地、郊外部の集落周辺においては、移動実態を調査し、ニーズを把握しながら、必要に応じて効果的なネットワークの形成を図ります。
- 盛岡都市圏と都市圏外を運行する広域基幹系統の維持は、岩手県や沿線自治体と連携し、バス事業者と協力して、路線のあり方（再編等）について検討及び協議します。

### 実施事業

#### <都市圏基幹系統のサービスレベルの維持>

- ☞ 都市圏基幹系統のサービスレベルの維持

#### <まちづくりと連携したネットワークの形成>

- ☞ 盛岡市立地適正化計画における居住誘導区域と整合するネットワークの形成（盛南地区）
- ☞ 滝沢市中心拠点商業地区周辺のネットワークの形成

#### <移動実態やニーズに対応した効果的なネットワークの形成>

- ☞ 盛岡市南西部及び矢巾町北部等の市町を跨ぐネットワークの形成

#### <広域基幹系統の検討・協議>

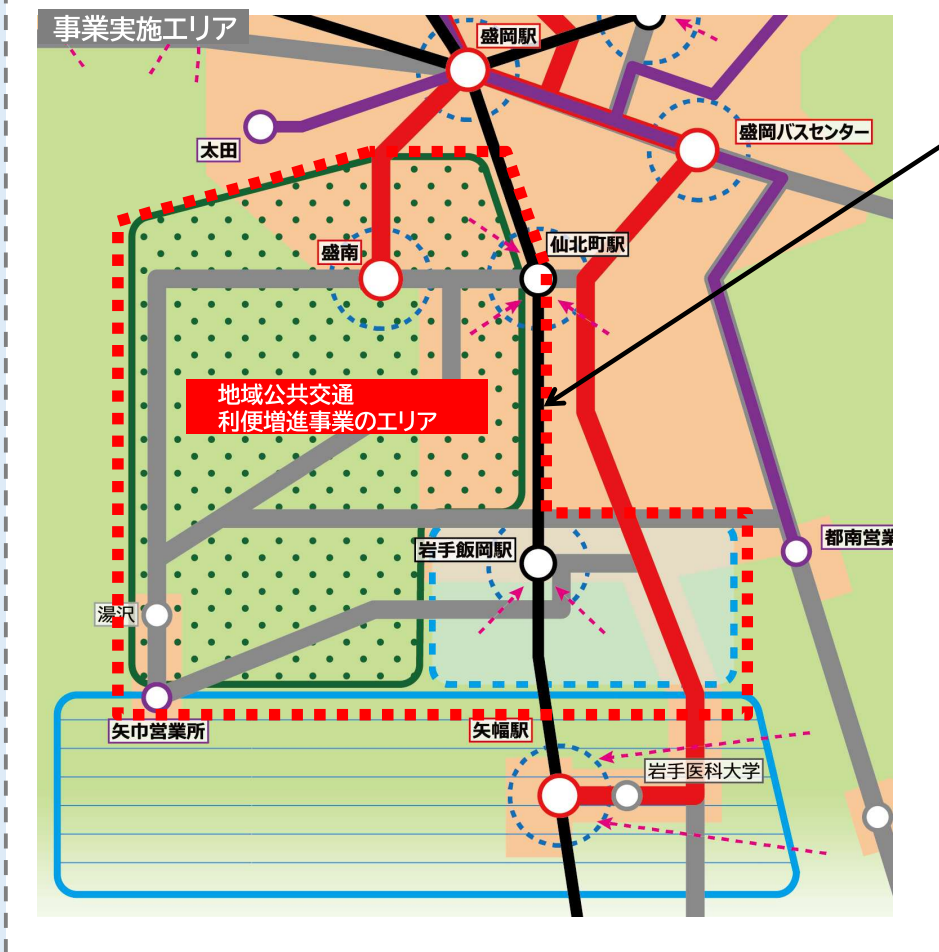
- ☞ 広域基幹系統の維持に向けた岩手県、沿線自治体、交通事業者間における協議及び検討

【方向性1】公共交通ネットワークの維持・確保  
都市圏施策1-2 路線バスネットワークの維持

地域公共交通  
利便増進事業

実施イメージ

○盛南地区・盛岡市南西部及び矢巾町北部におけるネットワークの形成イメージ



ネットワークの形成において想定している事業

ネットワークの見直しを想定している路線

- ・岩手県交通矢巾営業所を発着する系統(羽場線、本宮線、飯岡線、川久保線 等)

ネットワークの見直しにおいて想定している方針

- ・輸送資源の再配分による系統の見直し
- ・移動需要に伴う路線バスの幹線と支線の分割
- ・路線バスからデマンド交通への転換 等

ネットワークの見直しと併せて実施する関連事業

- ・都市圏公共交通マップの作成
- ・公共交通利用促進イベントの開催 等

→地域公共交通利便増進事業として位置付けて事業を推進

実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール					
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
【事業①】 都市圏基幹系統のサービスレベルの維持	◎	◎			実施(継続)					
【事業②】 まちづくりと連携したネットワークの形成	(盛岡市・盛南地区)				○	◎				検討・協議
	(滝沢市・滝沢市中心拠点商業地区周辺)				◎	○				実施
【事業③】 移動実態やニーズに対応した効果的なネットワークの形成	(盛岡市南西部及び矢巾町北部 等)				◎	◎				検討・協議
【事業④】 広域基幹系統の検討・協議	◎	○			検討・協議					

## 【方向性1】公共交通ネットワークの維持・確保 都市圏施策1-3 タクシーの効果的な活用によるネットワークの形成

地域公共交通  
利便増進事業

### 事業概要

- 鉄道や路線バスと一体となった一般乗用タクシーの効果的な運行に向けてネットワークの形成を図ります。
- 市街地のほか、市街地近郊の鉄道・バス不便地域や、時間帯で移動需要が大きく変化する地域における移動手段の確保に向けて、閑散時間帯等におけるタクシーの効果的な活用をタクシー事業者と検討及び協議します。また、需要が多い繁忙時間帯（朝夕ピーク時間帯）等における運行確保もタクシー事業者と検討及び協議します。

### 実施事業

#### <一般乗用タクシーの効果的な運行>

- ☞ 一般乗用タクシーの効果的な運行によるネットワークの形成

#### <時間帯や地域の需要実態等に応じた移動手段確保の検討>

- ☞ 閑散時間帯等におけるタクシーの活用及び繁忙時間帯等における運行の確保のための検討及び協議

### 実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
【事業①】 一般乗用タクシーの効果的な運行	◎	◎			実施(継続)				
【事業②】 時間帯や地域の需要実態等に応じた移動手段確保の検討	◎	○			検討・協議	実証運行	実施		

### 実施イメージ

○見直し想定エリアにおける地域公共交通利便増進事業のイメージ

#### 【現状】



#### 【改善後】



都市圏施策1-2と連動して、  
ネットワークの見直し（系統の見直し、幹線と支線への分割等）により、  
地域内交通（フィーダー系統）となるエリアのネットワークを確保  
➡地域公共交通利便増進事業として位置付けて事業を推進

**【方向性1】公共交通ネットワークの維持・確保**  
**都市圏施策1-4 地域の輸送資源の活用による移動手段の確保**  
**市町施策1-4 地域特性に合った交通手段の導入**

**事業概要**

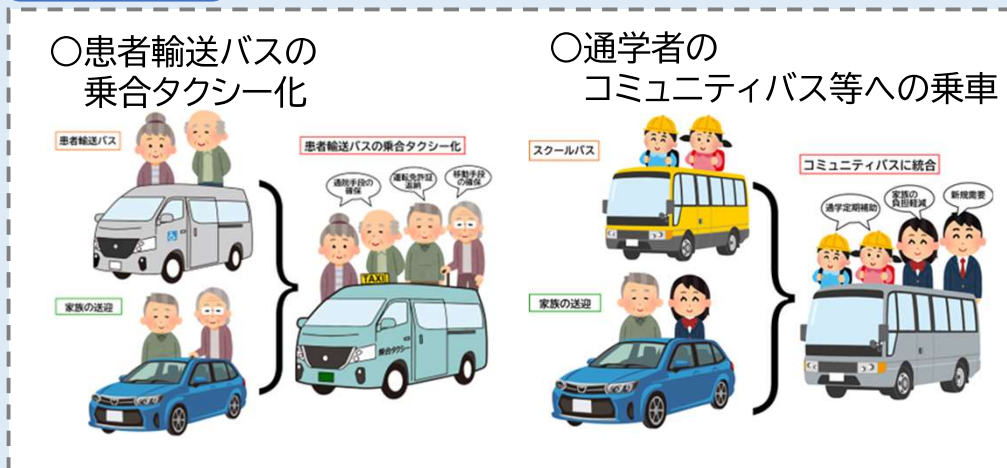
- 鉄道・バス不便地域のうち、中山間地域等の「地域内交通（小規模需要）」となる地域においては、既存の交通モードを含めた地域の様々な輸送資源の活用を検討し、持続可能な交通手段を確保します。
- 地域の輸送資源の活用においては、福祉部門、教育部門及び観光部門等とも役割分担を行い、連携しながら地域に応じた移動手段の導入を検討します。

**実施事業**

＜地域特性に合った交通手段の導入＞

- ☞ 地域の輸送資源の活用検討、関係者協議、地域公共交通会議等での協議  
 (地域の輸送資源の活用例)
  - 患者輸送バスの行政バス・乗合タクシー化、一般混乗
  - スクールバスの一般混乗、通学者のコミュニティバス等への乗車
  - 地域コミュニティによる継続的なボランティア送迎の仕組みづくり
  - 自家用有償旅客運送  
 (交通空白地有償運送、福祉有償運送) 等の活用
  - 商業施設のお買い物バスの一般利用、自動車学校や企業の送迎バスの空き時間の活用
  - 自動運転等の新技術の活用

**実施イメージ**



**実施主体・実施スケジュール**

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	各市町	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
地域特性に合った交通手段の導入	◎	○	○	○	検討・協議	実証運行	調整が整い次第実施		

【方向性2】交通結節点等の利便性・機能性向上

都市圏施策2-2 公共交通の裾野を広げる交通結節点等の活用とまちづくりとの連携

事業概要

- 交通結節点について、隣接する民間施設等との連携により、パークアンドライド（P&R）及びサイクルアンドライド（C&R）等を推進します。
- 民間施設との連携による路線バスの乗り入れや、待合環境の提供等を検討し、利用者の利便性の向上を図ります。

実施事業

＜交通結節点におけるP&R及びC&R等の推進＞

- ☞ 前潟駅（JR東日本）に近接するイオンモール盛岡におけるイベント時のP&Rの推進
- ☞ 巢子駅（IGRいわて銀河鉄道）や矢幅駅（JR東日本）等でP&Rの推進
- ☞ 主要バス停留所がある巢子地域や、太田地域に近接する商業施設等との連携によるP&R及びC&R等の実施に向けた調整

＜地域のまちづくりや主要施設との連携＞

- ☞ 盛岡赤十字病院、岩手医科大学附属病院等の医療施設への路線バスの乗り入れ
- ☞ イオンモール盛岡、イオンモール盛岡南等の商業施設への路線バスの乗り入れ
- ☞ 滝沢市中心拠点商業地区への路線バスの乗り入れ

実施イメージ

○交通結節点におけるP&R

○主要施設への路線バス乗り入れ



(巢子駅前P&R駐車場)  
(イオンモール盛岡におけるP&Rチラシ)



(岩手医科大学附属病院への乗り入れ)

実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
【事業①】 交通結節点におけるP&R及びC&R等の推進	○	○		○	実施(継続)				
	○	○		○	調整が整い次第実施				
【事業②】 地域のまちづくりや主要施設との連携	○	○		○	実施(継続)				

【方向性3】利用しやすい公共交通サービスの提供  
都市圏施策3-1 利用しやすい運行ダイヤの設定

地域公共交通  
利便増進事業

事業概要

- 日中時間帯のバスの運行ダイヤを調整して平準化を行い、待ち時間を短縮します。
- 複数のバス事業者が並行して運行している区間の運行ダイヤの平準化は、沿線自治体が主体となって調整や検討を行います。

実施事業

＜日中時間帯のダイヤ調整＞

盛岡駅前～厨川駅・巣子間における利便性の向上

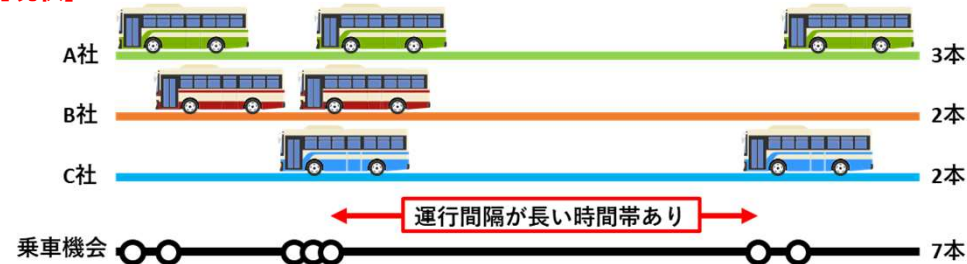
実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
日中時間帯のダイヤ調整	◎	○			検討・協議	試験運行	実施		

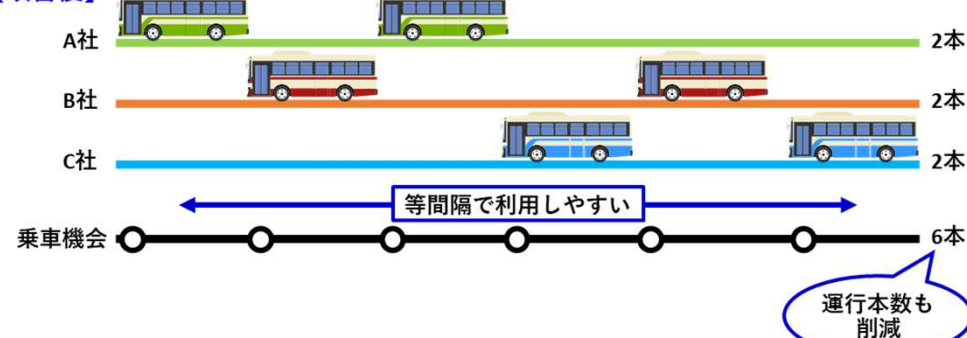
実施イメージ

○複数事業者運行区間におけるダイヤ調整

【現状】



【改善後】



事業者間の運行ダイヤ調整により、待ち時間の短縮を図るとともに、時刻表を気にせずとも利用できるように利便性を向上  
→地域公共交通利便増進事業として位置付けて事業を推進

【方向性4】生活を支える公共交通の理解促進  
都市圏施策4-3 公共交通利用促進イベントの開催

地域公共交通  
利便増進事業

事業概要

- 公共交通を広く周知し、新たな利用者確保を図るため、公共交通の利用促進イベントを実施します。
- 各市町で実施している公共交通利用促進イベントの共同開催を実施します。

実施事業

<公共交通利用促進イベントの共同開催>

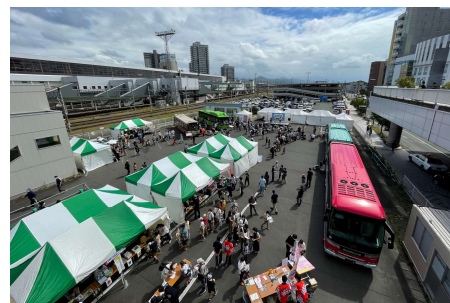
- ☞ 盛岡都市圏3市町の共同による公共交通利用促進イベントの開催
- ☞ 盛岡都市圏3市町の連携による公共交通利用体験会の開催

実施主体・実施スケジュール

実施事業	実施主体				実施スケジュール				
	行政	交通事業者	利用者	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
公共交通利用促進イベントの共同開催	◎	◎			検討・協議	実施			

実施イメージ

○公共交通利用促進イベントの開催



(盛岡市バスの日まつり)



(たきざわのりものフェスタ)

○公共交通利用体験会



(バス乗車体験・乗り方教室の様子)



(チャグバスの運行)

ご協議いただきたいこと

基本方針や目標、実施施策等の法定記載事項を「本編」、公共交通の現状、上位・関連計画の整理・数値根拠等を「現状分析編」へ整理します。計画構成について、ご意見をお願いします。

盛岡都市圏地域公共交通計画 本編 構成案

第1章 計画の概要

- ・計画の趣旨
- ・計画の区域と期間、用語の定義

第2章 基本理念と基本方針

- ・基本理念
- ・地域公共交通の現状診断
- ・基本方針
- ・将来ネットワーク

第3章 計画の目標

- ・目標・目標指標
- ・施策の方向性

第4章 目標達成のための施策・事業

- ・実施事業・実施主体・スケジュール

第5章 計画の達成状況の評価

- ・計画の管理・推進体制
- ・計画の管理方法

盛岡都市圏地域公共交通計画 現状分析編

- ・都市圏での地域公共交通計画の策定に至った背景や目的を記載
- ・法定記載事項である計画区域や期間等を整理

- ・基本理念（将来像）に対して、地域公共交通の現状とのギャップ（実施施策を裏付ける解決すべき課題）を整理
- ・目指すべき将来像を基本方針と将来ネットワークとして記載

- ・基本方針を踏まえ、公共交通ネットワークの確保や交通結節点の機能充実に関する視点、利用者の移動手段の確保・利便性向上の視点、多様な関係者の参画・連携の実現における視点、持続可能性・実現可能性の確保の視点から、目標・目標指標を整理

- ・基本方針に対応し、目標・目標指標を達成するための実施施策を整理
- ・実施事業・実施主体・事業スケジュールを記載

- ・具体的なPDCAの推進に向けた年間スケジュールを整理
- ・定期的・継続的な目標や検証・改善に向けた評価・モニタリングについてを整理
- ・多様な分野の関係者が参画できる体制や事務局・3市町の連携体制、データ活用等についてを整理

- ・盛岡都市圏や公共交通の現状として共通認識である事項を整理
- ・上位・関連計画、目標設定の根拠等を整理

# 【協議】⑥計画の推進体制・年度スケジュールについて

## ご協議いただきたいこと

計画の着実な推進のため、年度スケジュールによる具体的なPDCAサイクルを検討しました。  
実施内容・スケジュールについて、ご意見をお願いします。

## 年間スケジュール（案）

○：実施、●：実施に向けて調整

項目	N年度												N+1年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
<b>会議の開催</b> Plan Check Action																						
盛岡都市圏 地域公共交通会議			○ C A P				C A P ○					○ P				○ C A P						
分科会	前年度の取り組み状況の評価、決算報告、新規計画（案）・計画別紙（案）の検討												実施事業の検討・協議、事業評価資料（案）に関する協議					来年度事業計画・予算の提示				
	随時実施																					
<b>交通事業者との意見交換</b> Plan Do Check Action																						
交通事業者との相談	随時実施																					
<b>地域公共交通確保維持事業関連</b> Plan Do Check																						
フィーダー系統補助			○ P			○			○		○ C	○ C				○ P		○				
	計画認定申請			計画認定			前年度補助金交付申請			前年度一次評価			前年度二次評価			計画認定申請			計画認定			
	地域内交通の運行（前年度）						地域内交通の運行（本年度）															
<b>施策の実施</b> Do																						
実施事業	各種事業の実施																					
利用促進イベント			○ D			○ D										D ○		D ○				
	チャグバス運行			公共交通利用促進イベント			チャグバス運行			公共交通利用促進イベント												
<b>評価・検証</b> Check Action																						
計画推進・事業実施効果の検証・モニタリング	○ C		● C			○ A					○ C A		○ C		● C		A ○					
	目標指標の評価		継続的なモニタリング			データを用いた検証・改善計画・施策見直しの検討					対話型評価 関係者の双方向型のコミュニケーション		目標指標の評価		継続的なモニタリング		データを用いた検証・改善計画・施策見直しの検討					
	目標指標に関連するデータ		公共交通利用者数 路線バスの収支率等			実施事業の効果検証に活用する交通事業者等が保有するデータ					目標指標に関連するデータ											